



みどりっこバスが本格運行になっても回数券はそのまま使えます。今回ダイヤ改定はありません。☆真つ盛りの梅林公園に出かけませんか

まちづくり協議会会長の第3の“夢”です→1月号ご参照

災害に強く 自らの備えと住民協力で

一芥見東まちづくり協議会・自治会連合会々長 多田 喜代則

今年実現を目指す第3の夢は、近づく東海地震と台風・集中豪雨などの風水害、そして火災に対して、私たち自らの備えと相互協力によってこの地域の被害を最小限にする災害に強い芥見東づくりであります。

とりわけ、約40年も前に開発されたこの住宅団地では、以下の対策に積極的に取り組みたいものです。

- 1. 住宅用火災警報器の設置**—新築住宅はすでに義務付けられていますが、既存家屋についても岐阜市では2011年8月から条例が施行されます。
- 2. 家具の固定**—過去の震災では、家具の転倒により死傷したり、避難が遅れて被害が拡大しています。
- 3. 耐震診断と耐震工事**—昨年は、県・市、建築士と桜台、柏台の木造住宅を対象に耐震啓発運動を行ったところ、多くの申込みがありました。工事費の補助もあり、市の建築指導課にお問い合わせください。

☞以下、2面に続きます。

みどりっこバス 本格運行でも便利さを求めて

一コミバス運営協議会事務局長・山田 正行

三叉路で黄色い頭をヒョコリ出してるみどりっこバス、“先に行きいや”とパッシングしてやるとニコッと走っていきます。



そのバスも、この4月から本格運行に移ります。が、もっと便利にならないか？みどりっこバスプラス別の乗り物でもっと便利にならないか？バスの時刻でなく自分の時間で行動できるようにならないか？

などなど、皆さまのご意見・アイデアをお教えてください。お名前などを書いて、車内後方にあるアンケート箱へ入れてください。お待ちしております。

県立衛生専門学校・第2看護学科生の方の体験乗車記

- ★坂道多く、徒歩もえらいこの町、バス停が高齢者の利用しやすい各所に設置されていて親切と思う - 汲田さん
- ★バスがバリアフリーで乗りやすく、運転手さん、ヘルパーさんもとても優しく親切。ずっと続きますように - 古川さん
- ★これだけたくさんの方がいるのだからもっと本数が増えてくれるといいなあと思いました - 磯崎さん



21年度の まちづくりの活動 から

配布

大洞	4-81
東山	3-55
北山	38-363
コモン北	6-87
桜台	23-334
桜市	41-314
柏台	31-332
柏市	26-218
桐丘	23-199
桐市	6-45
紅葉	21-267
紅市	16-140
桜2P	1-27
計	239
	/2462



*「こうしては？」のご意見や話題・知恵・要望などを、ご連絡先を付して東公民館ポストまでお寄せください

(1面トップより続く)

災害に強く 要援護者を護れる仕組みも

4. 要援護者の保護—災害時に、要援護者の皆さんが安全に救出され、避難していただけるよう、ご近所による向こう三軒両隣の協力と連携が不可欠です。

自治会、民生児童委員、消防団などが連携プレイできる仕組みも検討し、実現を図ります。

5. 消防団員の確保—芥見消防団は団員が不足して

います。私たちの生命や財産を護り、安心できるまちにするためには、いざ災害への備えと平時の火災予防を進めなければなりません。その要が消防団員です。

ぜひご応募・ご推薦ください⇒ 連合会本部役員まで。



出初式で輝いた芥見消防団(右)

自治会長 リリーフ役も皆さんのおかげで

—柏台支部・WAさん

自治会活動も残り4ヶ月となった12月、4日前にお会いしたばかりの自治会長さんが急逝されました。

副会長の私がリリーフ役を任せられ、さて、どうするの？ どうなるの？と不安と心配がよぎります。会長さんの奥様から「何もわからないのでよろしくお願いします」と資料を渡され、「大丈夫ですよ！」と、大見得切ったものの、今まで会長さんに任せきりだったので、頭の中は真白に。

そんな中、班長さんや町内の方々の協力で総会も無事終えることができました。本当にありがとうございました。柏台連絡会の総会がまだありますが、順調に運ぶよう役員の方々に協力してついでいきます。□■

大洞作品展 自慢の品に伝わる熱い思い

—大洞支部・祖父江 久美子さん

大洞では、地元の方々の趣味、自慢の品を皆さんに観ていただこうと、9月に「作品展」を催しました。役員は、出品のお願いから陳列、返却まで一生懸命でした。楽しんでいただきたい一心でした。

作品は、書、絵、写真、生け花、切り絵、子どもたちの作品、家伝の貴重な品から、なんと青森のねぷた祭りの山車のミニチュアまであり、明かりを灯すこともできました。室内に入らないほどの大きさです。

自慢の品の数々に、取り扱いにも神経を使いましたが、作品に懸ける想いが伝わってくるようでした。

敬老会に参加された方々にも楽しんでいただきました。自治会の活動が年々活発になってきている昨今、これからも子どもから大人まで参加できて、楽しめる場を大切にしていきたいと思ひます。 □■

自治会活動 年度替わりが近づいて思う

—紅葉が丘支部長 田中 國雄さん

厳しかった冬が峠を越え、草木も目覚めようとしています。私もやっと町内のことが分かりかけてきた頃です。

思えば、防災訓練、盆踊り、敬老会、運動会、成人式と数々の行事が元気いっぱい行われました。私自身、そんな行事の一員であったことを嬉しく思っております。

また、敬老会では司会をやらせてもらい、皆様方のご挨拶などは、76歳以上だと、どんなお気持ち、考え方を持たされるのかと興味がありました。私にとって敬老会を司ってみて、貴重な体験となりました。

助けていただいた方々には感謝の気持ちで一杯です。地域の繁栄と皆様方の幸せを祈りながら次の方にバトンタッチしたいと思います。 □■

お問合せ⇒242-2762へ

老人クラブ 友だちも増え、若返ります

—芥見東老人クラブ連合会会長・梅田 宮明さん

緑団地の造成が始まり、入居者も増えだした70年代後半、岐阜市の老人クラブ加入率は、55～56%でしたが、以後急減し、昨年度は28%台となっています。

私たちの芥見東も例外ではなく、98年は21%あった加入率が、昨年は13.2%となり、7.6人に1人の状態です。この数字は、岐阜市連合会単位ではワースト3で、何とか改善したいものです。

老人クラブの活動は、グラウンドゴルフなどの健康づくり、旅行、親睦会、清掃奉仕、幼児とのふれあい活動など。夢と希望満ち溢れるクラブにするよう役員一同がんばっていますので、皆さまも元気なうちにすすんで参加されますように。

きっと友達も増えてもっと若返られると思います。 □■



大洞保育園の夏まつり

まちづくり 頂上を見失わず歩き良い道を

—自治会連合会副会長・寺井 和雄

皆さん金華山に登られると思います。どの道から登りますか。七曲がりからですか？馬の背から？目指す頂上は同じでも、登り道はいくつもありますね。

まちづくりも同じだと思います。連合会と各団体は、住民の方々と**みどりこパス**、青色防犯パト、里山づくりや月刊自治会だよりなど新事業に取り組み、まちの活性化に努めてきましたが、これらは登り道の一つです。

〈誰もが住み良いまち〉という頂上を見失わず、まだまだ体に合った歩き良い道をみんなで探しましょう。 □■

《今年度の本紙編集は秋松、榊原、松原、寺井が担当しました。ご愛読多謝》